

2024 年度
国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程
学生の育成事業 (BOOST)
次世代 AI 人材育成プログラム (若手研究者支援)
研究提案書 記入要領

提案には、e-Rad の研究者 ID 登録が必須です。

- (注意 1) e-Rad にアップロードされた提案書に審査を困難とする不備がある場合は、不受理といたしますので、ご注意ください。「審査を困難とする不備」とは、提案書各様式 (特に様式 1: 提案書表紙) の抜け、査読を困難とする文字化け、提案書記載項目の重大な記入漏れ等を指します。なお、JST は、提案の受理・不受理を問わず、募集締切時刻までに発生する提案書の不備についての一切の責任を負いません。従って、募集締切時刻までに、JST は提案者に事前確認のうえでの提案書の訂正もしくは、提案者に対する訂正依頼行為の一切を行わないことにつき、予めご承知おきください。また、募集締切後の e-Rad 上での引戻し処理はできません。
- (注意 2) e-Rad と研究提案書双方に記載欄がある事項について、記載内容が異なる場合は研究提案書の情報を正として対応します。

研究提案書(様式)の記入要領

提出書類の一覧は以下の通りです。次ページ以降の研究提案書の記入要領に従い、研究提案書を作成してください。提案書様式は必ず本年度の様式を使用してください。

様式番号	書類名
様式 1	研究提案書表紙 (1 ページ以内)
様式 2-1	研究提案の要旨 (2 ページ以内)
様式 2-2	研究遂行能力 (2 ページ以内)
様式 3	研究構想 (6 ページ以内)
様式 4	研究費計画
様式 5	研究実績
様式 6	他制度での助成等の有無
様式 7	特記事項 (3 ページ以内)

- ※ ファイルの容量は 3 MB 以内を目途に作成ください。
- ※ 研究提案の応募方法については、募集要項「第 5 章 府省共通研究開発管理システム(e-Rad)による応募方法について」をご参照ください。
- ※ 応募に当たっては、募集要項「第 4 章 応募に際しての注意事項」をご理解の上、ご応募ください。

2024 年度募集 BOOST(若手研究者支援) 研究提案書

※ 様式 1 は A4 用紙 1 ページ以内 (厳守) で記入してください。

※ 本様式に限らず、青字の注意書き等を削除して下さい。

※ e-Rad 記入情報について、研究提案書の記載と相違が認められた場合は、研究提案書の記載を正として取り扱います。

研究課題名 (20 字程度)	※英語課題名の場合は、日本語の課題名 (20 字程度) を併記してください
研究提案者氏名	
クロスアポイントメント先機関・部署・役職 (研究を実施する場所、JST との契約予定先)	※「大学院○○研究科○○専攻」「特任准教授」等、略さず正しくご記入ください。大学院の表記漏れにご注意ください。 ※未定の場合は「未定」と記載してください。
クロスアポイントメント先機関との調整状況	<input type="checkbox"/> 既にクロスアポイントメント制度を活用し、雇用契約を結んでいる <input type="checkbox"/> クロスアポイントメント先機関との交渉を開始している <input type="checkbox"/> 未調整 ※該当するものにチェックを入れてください。
クロスアポイントメント元機関・部署・役職	※「 <u>大学院</u> ○○研究科○○専攻」「 <u>特任准教授</u> 」等、略さず正しくご記入ください。大学院の表記漏れにご注意ください。
博士号取得情報及び学歴	20XX年 ○○大学○○学部卒業 20XX年 ○○大学大学院○○研究科修士課程○○専攻修了 20XX年 ○○大学大学院○○研究科博士課程○○専攻修了 博士号取得年月日：(西暦) ○年○月○日 (2024年4月1日時点、取得後○年) 取得機関：○○大学大学院○○専攻 種類：○○学博士
研究歴 (主な職歴と研究内容)	20XX年～20XX年 ○○大学○○学部 助手 ○○教授研究室で○○○○○について研究 20XX年～現在 ○○研究所 研究員 ○○博士研究室で○○○に関する研究に従事
研究提案者の情報	URL： researchmap の URL を記入してください。なければ、研究提案者情報を収載している研究室ウェブサイト等の URL を記入してください。
研究費総額	全研究期間での研究費総額 (千円) (小数点は記入しないでください。また、単位は【千円】ですのでご注意ください)

	ください。総額 600 万円の場合、“6,000 千円”です。
--	---------------------------------

※本プログラムへの応募を機に新たにクロスアポイントメントを実施する場合（応募締切時点でクロスアポイントメント未実施の場合）、研究実施場所はクロスアポイントメント先機関に限ります。

※応募締切時点でクロスアポイントメントを実施済みの場合は、研究実施場所機関を選択できます。その場合は、「クロスアポイントメント先機関・部署・役職（研究を実施する場所、JST との契約予定先）」欄に研究実施場所となる機関についての情報を記入し、「クロスアポイントメント元機関・部署・役職」欄に他方の機関についての情報を記入してください。

研究提案の要旨

○要旨

- ※ 様式 2-1 では、研究提案の要旨を A4 用紙 2 ページ以内(厳守) で記述し、10.5 ポイント以上の文字を使用してください(これらが遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります)。なお、様式 3 (研究構想) とは異なり、業績リスト (様式 2-2、ならびに様式 5) にて示した論文等の番号を引用することはできません。
- ※ 本様式では、様式 3(研究構想)のうち、項目「1. 研究の背景・目的」に対応する内容を中心に簡潔に記述し、項目 2~5 に対応する内容はそれを理解する上で最小限の記述としてください。なお、研究構想の妥当性や実現性に係る科学的・技術的な評価は、主として様式 3 により行います。
- ※ 評価者が理解しやすいよう、必要に応じて図表(カラー可)を入れてください。

研究遂行能力

- ・様式 2-2 は、A4 用紙 2 ページ以内(厳守)で記述してください(遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります)。
- ・文字の大きさや行間を調整していただいて構いません。

1. 主要論文の概要及び研究提案者の貢献 (3件以内)

【論文の場合の記載例】

発表論文等名、掲載誌、巻号・ページ・発表年、筆頭著者名、研究提案者名 (順位/著者数)、最終著者名

- ・研究提案者の主要論文3件以内を、様式5の「1. 主要な論文・著書・特許等」から選択して記入してください。
- ・現在から順に発表年次を過去に遡って記述してください。
- ・記述にあたっては、行頭に連番を付けてください。
- ・論文の記載項目は以下のとおりとしてください (著書の場合はこれに準じてください)。項目順は自由です。

【記載項目】

発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年、筆頭著者名、研究提案者名 (順位/著者数)、最終著者名、(※責任著者に*をつけること、順位は筆頭著者を1とすること、単著の場合は1/1 とすること)

例：科学太郎*、研究提案者名 (3/15)、創発花子

例：研究提案者名 (1/10)、創発花子*

例：科学太郎、創発花子、研究提案者名* (15/15)

- ・各論文の研究に関して次のことを簡潔に記載してください。(各論文の下に記載してください。) また、それぞれについて研究提案者の貢献についても記入願います。

【記載項目】

当該研究で何を明らかにしたのか、当該研究を推進する上で困難だったことは何か、その困難をどのように克服したのか

2. アピールポイント・その他補足事項

- ・研究を推進するにあたり、アピールすべき事項や補足すべき事項があれば、既定のページ数の範囲内で、ご自由に記述ください。

研究構想

- ※ 評価者が理解しやすいように記述してください。そのため、必要に応じて図表(カラー可)も用いてください。
- ※ 様式 3 は、A4 用紙 6 ページ以内(厳守)で記述し、10.5 ポイント以上の文字を使用してください。(これらが遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります。)
- ※ 本研究構想中では必要に応じて研究実績(様式 5)の記載内容を適切に引用することにより、提案者自身の業績と研究提案との関係が明確となるようにしてください。引用にあたっては、業績リスト(様式 5)にて示した論文・著書番号を用いることもできます。

1. 研究の背景・目的

本研究構想に至った背景・経緯となぜ本研究構想を実施しようとしているのかを説明してください。

2. 研究期間内の達成目標 ※100字以内(句読点含む)

研究期間終了時点での研究成果の目標を 100 字以内で簡潔に記入してください。

3. 研究計画とその進め方

- ・具体的な研究項目と、その進め方(前項で定めた目標の達成に当たって予想される問題点とその解決策等を含む)を主要な研究項目ごとに記述してください。
- ・研究手法について記載する場合は、既存手法と比較のうえ、なぜその手法を選択したかについても言及してください。
- ・記述にあたっては、研究を進めるうえでの手掛かりとして予備的な知見・データがあれば説明してください。

4. 国内外の類似研究との比較、および研究の独創性・新規性

- ・関連分野の国内外の研究の現状と動向を踏まえて、世界の中での本研究構想の位置付け、独創性、新規性や優位性を、明確に示してください。必要に応じて、競合研究の具体的な内容にも触れて説明してください。

5. 将来展望

本研究構想における成果が、将来的に、どのように我が国の次世代 AI 分野へ貢献ができるか記述してください。

研究費計画

- ※ 費目別の研究費計画を年度ごとに記入してください。
- ※ 人件費・謝金については、「クロスアポイントメント人件費」「その他の人件費・謝金」に分けて記載してください。
- ※ 「クロスアポイントメント人件費」の計上にあたっては、募集要項「3.3.1 研究費（直接経費）」についてもご参照ください。

1. 費目別の研究費計画

	初年度 2025. 1～ 2025. 3	2年度 2025. 4～ 2026. 3	3年度 2026. 4～ 2027. 3	4年度 2027. 4～ 2028. 3	5年度 2028. 4～ 2029. 3	最終年度 2029. 4～ 2029. 12	合計 (千円)
設備備品費							
消耗品費							
旅費							
クロスアポ イントメン ト人件費							
その他の人件 費・謝金							
その他							
合計(千円)							

<研究費計画の記載に関する注意点>

- ※ 面接選考の対象となった際には、さらに詳細な研究費計画を提出していただきます。
- ※ 採択された後の研究費は、プログラムオフィサーによるマネジメント、課題評価の状況等に応じ、研究期間の途中に見直されることがあります。

<各費目の概要>

- ※ 設備備品費：設備や備品を購入するための経費
- ※ 消耗品費：消耗品を購入するための経費
- ※ 旅費：研究代表者や研究参加者の旅費
- ※ クロスアポイントメント人件費：クロスアポイントメント先機関が負担する研究代表者の人件費
- ※ その他の人件費・謝金：クロスアポイントメント人件費以外の、研究員・技術員・研究補助員、RA等の人件費、謝金
- ※ その他：上記以外の経費(研究成果発表費用、機器リース費、運搬費等)

2. 研究費に関する特記事項

多額の人件費や旅費が必要な場合等、特に説明が必要な事項があれば記入してください。

業績リスト

【研究提案者の英語論文等での著者表記：(記入例) Taro Kagaku】

書類選考にあたって、評価者 (P0・AD・外部専門家等) が論文データベースを検索し、業績の詳細を確認することがあります。このため、上記【研究提案者名の英語論文等での著者表記】をフルネームで正確に記入してください。なお、後述のリストに著者を記入する際は、T. Kagaku 等と略記して構いません。

1. 主要な論文・著書・特許等

【論文の場合の記載例】

発表論文等名、掲載誌、巻号・ページ・発表年、筆頭著者名、研究提案者名 (順位/著者数)、最終著者名

- ・学術誌等に発表した論文、著書、特許等の業績のうち重要なものを、現在から順に発表年次を過去に遡って記述してください。
- ・記述にあたっては、行頭に連番を付けてください。その番号は、研究構想 (様式3) の記述中で引用できます。
- ・論文の記載項目は以下のとおりとしてください (著書の場合はこれに準じてください)。項目順は自由です。

【記載項目】

発表論文等名、掲載誌、巻号・ページ・発表年、筆頭著者名、研究提案者名 (順位/著者数)、最終著者名 (※責任著者に*をつけること、順位は筆頭著者を 1 とすること、単著の場合は 1/1 とすること)

例：科学太郎*、研究提案者 (3/15)、創発花子

例：研究提案者 (1/10)、創発花子*

例：科学太郎、創発花子、研究提案者名* (15/15)

2. 主要な招待講演

- ・研究提案者の主要な招待講演を、現在から順に発表年次を過去に遡って記述してください。
- ・記述にあたっては、行頭に連番を付けてください。

3. 主要な受賞歴

- ・研究提案者の主要な受賞歴を、現在から順に発表年次を過去に遡って記述してください。
- ・記述にあたっては、顕彰名 (文部科学大臣表彰、ナイスステップな研究者の表彰等) を記載した上で、行頭に連番を付けてください。

他制度での助成等の有無

※ 研究提案者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の競争的研究費（*）やその他の研究費（国外も含め、補助金や助成金、共同研究費、受託研究費等、現在の全ての研究費であって個別の研究内容に対して配分されるもの）について、研究課題ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォートを記入してください。募集要項「4.2 不合理な重複・過度の集中に対する措置」についてもご参照ください。

※ BOOST 本提案課題を必ず1つ目に、次にその他研究課題を本人受給研究費(期間全体、直接経費のみ)が多い順に記入してください。

※ 必要に応じて行を増減してください。

番号	制度名	受給状況	研究課題名 (代表者氏名)	研究期間	役割 (代表/ 分担)	(1)本人受給研究費 (期間全体) (2) # (2025年度 予定) (3) # (2024年度 予定) (4) # (2023年度 実績)	2024 年度 エフォート (%)
-	BOOST 若手 (本申請)	申請	<u>本提案。右側にエフォートを記入すること。</u>				50
(1)	科学研究費補助 金(基盤研究C)	受給	〇〇〇 (〇〇)	2022.4 — 2025.3	代表	(1) 3,000 千円 (2) 0 千円 (3) 1,000 千円 (4) 1,500 千円	20
(2)	〇〇財団 ×× 研究助成	申請	〇〇〇 (〇〇)	2024.9 — 2026.3	分担	(1) 900 千円 (2) 500 千円 (3) 400 千円 (4) - 千円	- **
(3)				—		(1) 千円 (2) 千円 (3) 千円 (4) 千円	

また、本事業については、2025 年度のエフォート率（予定）も記載してください（下表）

制度名	2025 年度エフォート率 (%)
BOOST 若手 (本申請)	〇〇%

【注意事項】

※ 研究者の全仕事時間とは、研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動や管理業務等を含めた実質的な全仕事時間を指します。締結済の秘密保持契約等の内容に基づき記載することができないなど、やむを得ない事情により記載が難しい場合は、エフォート以外の項目は記入せずにご提出いただくことが可能です。

- ・ 記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる可能性があります。
- ・ 面接選考の対象となった場合には、記載内容の詳細について問い合わせる可能性があります。
- ・ その他の研究制度を研究費（期間全体）の多い順に記入してください。
- ・ 必要に応じて行を増減してください。

* 応募にあたっては、「統合イノベーション戦略 2020」において「外国資金の受入について、その状

2024 様式 (BOOST 若手)

況等の情報開示を研究資金申請時の要件」とすることとされたことを踏まえ、「他制度での助成等の有無」の様式に海外からの研究資金についても記入することを明確にしています。国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費などの研究資金について全て記載してください。

** 他制度で「受給状況」が「申請」の場合は、「一」を記入してください。

特記事項

※ 様式 7 は、A4 用紙 3 ページ以内で記入してください。(遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります。) チェックボックスを設けている項目については、該当する方にチェックを入れてください。

※ 利害関係の有無については募集要項「2.8.3 利益相反マネジメントの実施」をご参照の上、ご記載ください。

1. 研究提案者と評価者との利害関係の有無

(ア) プログラムオフィサーとの利害関係： 有 無

理由 (利害関係がある場合。複数可。):

(例) ○○プロジェクト (20XX 年～20XX 年) にてプログラムオフィサーと共同研究を実施しており、2.8.3①に定める利害関係者の要件のうち、(d)に該当する。

(イ) アドバイザーとの利害関係： 有 無

利害関係にあるアドバイザー名：△△ △△

理由 (利害関係がある場合。複数可。):

(例) □□プロジェクトにおいて現在共同研究を行っており、2.8.3①に定める利害関係者の要件のうち、(d) に該当する。

<記入にあたっての注意点>

利害関係が認められる場合には、募集要項「2.8.3 利益相反マネジメントの実施 (1) 選考に関わる者の利益相反マネジメント」に定めるとの要件に該当するかも含めて、その理由を簡潔に記載してください。なおアドバイザー一覧は、募集ホームページに掲載しますので、こちらをご参照ください。

【「募集要項 2.8.3 利益相反マネジメントの実施 (1) 選考に関わる者の利益相反マネジメント」：利害関係者の要件 (要旨)】

- (a) 親族関係にある。
- (b) 大学等の研究機関において同一の学科、専攻等に所属している者又は研究提案者等が所属している大学等もしくは大学等を経営する法人の役員その他経営に関与しているとみなされる者及び当該法人を代表して対外的に活動している。ここでいう同じ学科・専攻等とは、最小の研究単位よりも一つ上のまとまりを指す。
- (c) 同一の企業に所属している者又は研究提案者等が所属している企業の親会社等にあたる企業に所属している。
- (d) 緊密な共同研究を行っている。(例えば、共同プロジェクトの遂行、共著研究論文の執筆、同一目的の研究メンバー、あるいは研究提案者等の研究課題の中での研究分担者など、研究提案者等と実質的に同じ研究グループに属している)
- (e) 密接な師弟関係あるいは直接的な雇用関係にある。
- (f) 直接的な競争関係にある。

- (g) その他 JST が利害関係にあると判断すべき事情がある。

2. 所属機関に対するJSTの出資の有無

募集要項「2.8.3 利益相反マネジメントの実施 (3) JST の利益相反マネジメント」の記載に従い、研究提案者の所属機関が JST の出資先企業に該当するか否かを記載してください。

JST の出資： 有 無

当該機関の名称：株式会社〇〇 (科学太郎)

<記入にあたっての注意点>

- ・ JST の出資先企業については下記ウェブサイトを参照してください。なお、出資を終了した企業は利益相反マネジメントの対象ではないため、申告の必要はありません。

<https://www.jst.go.jp/entre/result.html#M01>

- ・ 申告の基準日は公募開始日とします。当該日時点で JST から出資が公表されている企業について申告してください。出資内定済み等であるが未公表の企業については、JST 内部の機密保持のため、申告の必要はありません。
- ・ JST の出資公表については下記ウェブサイトを参照してください。

<https://www.jst.go.jp/entre/news.html>

3. (該当者のみ) 研究提案者のエフォートに関する特記事項

※ 研究提案者が特別の任務等 (特定の学内・社内業務等) に仕事時間 (エフォート) を要する事情の有無

4. その他特記事項

※ 異動予定がある場合は、ご記載ください。

※ その他、本研究提案にかける意気込みの記載等、既定のページ数の範囲内で、ご自由にご活用ください。